

# 令和5年度小谷村ケーブルテレビ放送番組審議会議事録

日 時	令和5年6月27日(火)14:00~15:00	場 所	小谷村役場 201 会議室	記録者	上川(由)
出席者	<p>【委 員】6名  今井頌治（松澤聡志代理）、上川喜一、中村恭之、吉澤学、デクレットポール、岡田彩香</p> <p>【事務局】3名  諏訪匠、北村順二、上川由香里</p>				
No	内 容				
1	<p>開会</p> <p>会長選任  上川喜一氏を会長に選出。</p>				
2	<p>議題</p> <p>確認事項(1) 放送番組審議会規則について  事務局より、資料1に基づいて説明、確認がなされた。</p> <p>報告事項(1) 加入者数・加入率について  事務局より、資料2に基づいて説明がなされた。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>委 員) 数字の根拠は？  事務局) 加入者数は公民館等の公共施設を除いた契約数で、一般的な世帯の他に事業店舗等も含む。  総世帯数は村の広報誌掲載数を引用している。</p> <p>委 員) 総世帯数は住民票登録数なので、事業店舗等も含まれる加入者数に対する加入率の分母として扱うのは適さないと思う。  事務局) 次に示す際には、指摘内容に留意する。</p> <p>報告事項(2) ケーブルテレビ番組の概要説明について  事務局より、資料2・3に基づいて説明がなされた。</p> <p>審議事項(1) 既存番組について  事務局より、資料2に基づいて説明がなされた。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>委 員) 視聴率はどの程度か？  事務局) 民法キー局で実施しているような視聴率調査は専用システムの配備が必要。村内の視聴率把握という規模感に対してコストがかかりすぎてしまう。過去に紙媒体で視聴アンケートを取ったこともあるが、配布数に対する回答数がとても少なかった。定量的に計測するのは難しい。</p> <p>事務局) 番組 DVD の購入層を見ると、お子さんがいらっしゃるご家庭では比較的視聴されているかと思われる。</p> <p>事務局) 肌感覚だが、子どもや年配の方が見てくれているように思う。</p> <p>委 員) 紙媒体でのアンケートだけでなく、番組の最後に QR コードを表示してオンラインでもアン</p>				

ケートを集めてはどうか。

委員) 現在把握している視聴層では QR コードを読み取って回答するのは難しいのではないか。

## 審議事項(2) 新番組について

### 【委員からの意見等】

委員) 新番組検討には視聴者のニーズや CATV 局がどのような立ち位置にあるかを知りたい。視聴率などの客観的な指標があれば参考となるが、それがないとなると検討そのものが難しい。紙やオンラインでのアンケートが難しいとのことだったので、契約者に電話アンケートを取るなり、取材先で直接聞き取りを行うなりでニーズ把握していくしかないのでは。

事務局) 様々な手法や機会を使って、できる限り視聴者の意見を集めていきたい。

委員) せっかく観光チャンネル(11ch)があるのだから、自主放送チャンネル(12ch)で流した番組の再放送はできないのか。特におたりがぶった TV のように観光情報を意識したものを選んでみてはどうか。

事務局) 技術的には可能。別チャンネルで同じ番組が流れるため、差別化が課題か。そもそも区別する必要があるかも含めて検討したい。

委員) いくつか意見がある。

- ・番組をより充実させるため、スポンサーを募集してはどうか。例えば、村の指定管理者にスポンサリングしてもらい代わりに、年間通じた CATV での情報発信などできるのでは。
- ・単発の番組制作だけでなく、長いスパンで撮影をして、タイミングを見計らって特番として放送するのも面白いと思う。これに関連して、先ほど DVD 販売の話があったが、特定の子どものクローズアップして、各行事の子どもの様子を撮影し DVD 販売するのもいいかもしれない。

委員) 番組制作は具体的な視聴対象を決めてから制作するのか、それとも企画内容がおもしろいから制作するのか。もし、視聴対象を明確にしていけないのなら、そこを具体化していった方がよいと思う。子どもがよく見ているということなら、子どものための番組を作ってはどうか。例えば、この場所ではこんな虫が捕れる、ここで水遊びできるなど、子どもが遊ぶための情報提供などはどうか。

事務局) 子どもたちの活動は撮影してきているが、“子どものため”という発想はなかった。

事務局) 子どもが見たい番組となると、視聴の際には親も一緒に見るはず。視聴層の拡大にもつながるかもしれない。

事務局) 塩の道に関するコンテンツ制作はどうだろうか。

委員) 歴史や文化などを深掘りする映像が既にあるので、新たに制作するとしたら、村内の各コースを浅く広く紹介するようなものがあると思う。タイムラプスなどを用いたコースを歩く主観映像も面白いのでは。公認ガイドの中には、ガイド経験が浅くコース全体の紹介は自信がない人もいるため、そういった人にお気に入りの景観など一押しスポットを紹介してもらうのもいいかもしれない。

事務局) 一押しスポットの紹介は、大糸線関連にも応用できるのではないかな。

委員) いくつか意見を考えてきた。

- ・保護者同士で「●●ちゃんがこの前映ってたね」と話に出ることがあるが、放送タイミングを逃してしまうこともあるようなので村の公式 LINE で番組情報を流してほしい。
- ・先ほど出ていたアンケートも、LINE で簡単に答えられると意見が集まりやすいと思う。
- ・子どものための番組という案があったが、例えば 1 分くらいのダンスを作って、子どもがテレビを見る時間帯に流し、子どもたちにも踊ってもらって映像を寄せてもらうのもいいかもしれない。
- ・以前の番組で、小谷に住む外国人の仕事紹介があったが、同じように村内在住の外国人の方にフィーチャーするのも面白いと思う。
- ・仕事紹介の関連で、集落支援員や地域おこし協力隊の人たちがどんな活動をしているか密着するのもいいのでは。
- ・観光チャンネルを店舗で流しているところも多いので、時間帯によって放送する内容を工夫してみてはどうか。

委員) 外国人への取材は、インバウンドの魅力発信にも繋げられる機会になるのではないかな。

事務局) 様々なご意見をいただきました。これらアイデアを今後の番組制作で活かしていきたい。

事務局) 事務局から提案として、短いニュース番組の制作を試験的に開始している。実際の映像をご覧いただいてご意見いただきたい。

委員) 映像があまり長くても見にくいと思うので、尺を 3 分くらいで定めるといい。

委員) ネット集めや即時性が課題となるかな。

事務局) 番組の間に CM のようなイメージで挟むと、既存番組も途中で飽きずに視聴できると思う。

事務局) 7 月から放送開始していく見込み。

委員) 何度か話に挙がったが、次回開催時にはアンケート等視聴者の意見集約したものを元に意見交換できるよう準備してほしい。

### 3 その他

#### (1) 番組送出システム更改

事務局) 7 月 10 日頃に予定している。番組プログラムの入力作業負担が減る見込みなので、さらに小回りの利いた編成ができる予定。

### 4 閉会

#### 特記事項

次回開催は、2023年10月実施予定。